



僕は今「それ」を
先生の「特別授業」を
受けている。

特別 授業

昆布+





僕はそんな
授業の中



体育教師である
先生と一対一で
長期休暇中に卒業に
必要な出席日数分を
補習授業という形で
補っていたのだ。

僕は持病の関係で
体育の授業を
十分に受ける事が
出来なかったのだ



そして
その視線を先生は

ふーん…



釘付けになっていた。



ジャージ越しからでも解る
先生の股間の膨らみに



笹木野は
先生の授業より
先生のチンポに
夢中かあ



見逃しては
くれなかった。

!?

その日から僕の
「補習授業」は

へへ…
触ってみるか？

先生の
「特別授業」に
変わったのだ。

この「特別授業」で
先生は僕に
たくさんの特的な事を
教えてくれました。



笹木野...

最後の授業は
今までの授業の
総仕上げ...
先生と本番だ。

そして
今日

補習授業最終日
であり、先生との
最後の特別授業
になるのだ。

先生待って...

は...はじめては
その...う...
ゴムは無し...で...
生でしたいです...

はは...

先生としては
素直に喜べ
ないなあ...

けど

先生の生チンポで
ゴム有りじゃ
満足できねえ体
にしてやるからな...

愛する生徒に
そんなチンポにくる
お願いをされちまっ
たらよお...応えて
やるしかねえよ

やあ!!

あー

あー

あー

ア

ア

ア



こうして
僕の「補習授業」は
終わりを迎えた。
卒業ができた！

ふう…今日まで
よく頑張ったな！
ちゃんと最後まで
ついてきてくれて
先生は嬉しいぞ！

よし記念撮影しよう！
笹木野の頑張った姿を
しっかり先生が
撮ってあげるからな

そうだ
先生の連絡先と住所
教えておこう。

はい！
ピースピース！
笑って笑って(笑)

先生のチン…授業が
欲しくなったら
すぐに連絡しろ。

いいな？

へあ…い♡

が、僕は

先生の「特別授業」
からは、卒業
できなかった。

